

朝礼 校長講話（3月11日）

先日、卒業式が行われ、みんなが大好きだった3年生208人がこの弥富中学校から卒業しました。その式に在校生代表として出席した2年生は、式はもちろん、その前日も式場や教室、外回りもしっかりと準備やそうじをしてくれ、立派な態度でその役割を果たしてくれました。式に出られなかった1年生にそのことを報告します。

そんな3年生がいなくなった今日の朝礼。当たり前かもしれませんが、先ほどのあいさつ、3分の2の声でした。「3分の2しかいないんだから当然じゃん」と言うかもしれませんが、先生は、3分の2以上を期待していました。なぜなら、3年生が卒業した後、その3年生の担当だったそうじ区域のいくつかを、2年生がしてくれています。そのおかげで、これまでと同じように弥富中学校はきれいな状態が保たれています。

皆さんは、「1」の力を持ち、さまざまな場面でそれを出し切っています。でも、時には、それに「0.1」をプラスした「1.1」の力を出してくれることがあります。テスト前の勉強や、部活動の大切な試合などがそうです。日頃、自分が出している力以上のものを出してそこに臨んでいます。毎日、それをするのは大変なのは分かっていますから、それを望んでいるわけではありません。こうして3年生がいなくなった今こそ、「0.1」のプラスをしてもよいかなと思います。一人が「0.1」プラスしたら、それが10人で「1」になります。今は抜けた3年生の分を補うためですが、それが4月からは自分の力になっていくはずです。

話は変わりますが、今日は3月11日。先週あたりから新聞やテレビなどで特集が組まれています。8年前の今日、東北地方に大きな地震が発生し、それによる津波や原子力発電所の被害により、多くの方が犠牲になりました。今日はその方々の冥福をお祈りするために、運動場の国旗掲揚塔には半旗が掲げてあります。半旗とは、いつもは一番上まで上げる国旗を半分までにし、悲しみの気持ちを表すものです。

8年前のこの日から、日本中の人たちの考えが変わりました。生活が変わりました。「東北の人たちのために」と、日頃の「1」に「0.1」を加え、それを東北の人たちのために、と思うようになりました。中には、ボランティアで東北へ足を運ぶ人もいました。

今の学年もあと少しです。「0.1」のがんばりを見せてください。